

JFM だより

vol. **36**
DECEMBER 2020

[青森県八戸市]

八戸市みなと体験 学習館「みなっ知」

地域の歴史・文化を知り、災害・防災について学ぶ



INDEX

- 01 融資がつむぐまちづくり
- 05 がんばる公営競技
- 07 JFM TOPICS
- 09 利用してみよう! 地方支援業務
- 11 みんなのギモンにファイナンス博士が回答!
みんな気になる、お金のこと
- 13 わたしのシゴト わたしのジモト
- 14 機構からのお知らせ
- 15 私たちもJFM債買っています!
- 15 編集後記





地域の歴史・文化を知り、災害・防災について学ぶ

青森県八戸市 八戸市みなと体験 学習館「みなっ知」

穏やかな気候が特徴の県内第二の都市、青森県八戸市。

この街に暮らす方々の憩いの場である館鼻公園内に

令和元年7月にオープンしたのが「八戸市みなと体験学習館(愛称:みなっ知)」です。

地域の歴史・文化とともに東日本大震災の被害状況や教訓を次の世代に伝えていく学習施設となっています。



2



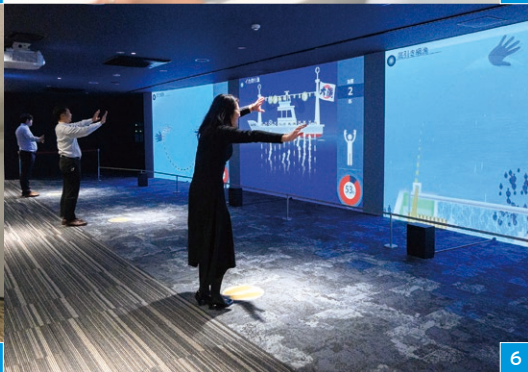
3



4



5



6



7



8



9

八戸市みなと体験学習館 概要

所在地:青森県八戸市大字湊町字館鼻67-7

開館:令和元年7月

建築面積:約1,764㎡

八戸市みなと体験学習館「みなっ知」って？

湊地区の歴史・文化と震災の記録を伝える施設

現在八戸市みなと体験学習館がある場所には、八戸測候所がありました。平成19年頃にこの測候所が無人化されたことをきっかけに、地元の方々から、湊地区の歴史・文化を伝える学習の場として整備したいという声上がり、改修計画がスタートしました。しかし、事業着手に向けて進んでいた矢先に「東日本大震災」が発生。八戸市も津波などによる被害を受けたことから、湊地区の歴史・文化だけでなく、東日本大震災の被害状況や教訓を伝える施設として改修し、県内唯一の「震災伝承施設」に指定されました。

映像などを通して学べる展示コーナー

2階建の館内は、1階が「防災学習フロア」、2階が「歴史・文化学習フロア」に分かれています。それぞれのフロアでは、映像と音響による東日本大震災発生当時の状況体験や、大型スクリーンで八戸の歴史・文化が学べるコーナーなどが常設されています。また、八戸市みなと体験学習館では楽しく学べるだけでなく、災害時には地域の方の避難所となる防災機能も備えています。

- 1 震災タイムトンネル。東日本大震災による災害の様子を映像と音響で体験できます。
- 2 津波アーカイブ。八戸の過去の災害記録などをタブレットで学ぶことができます。
- 3
- 4 八戸市防災マップ。最大クラスの津波により被害を受けるおそれのある地域や、避難所の位置を示したものです。
- 5 八戸スコープ。八戸市の海、山、内陸の観光スポット情報を展示しています。
- 6 湊ワイドスコープ。人感センサーを活用した漁師クイズなどが楽しめます。
- 7 ミニジオラマ。昭和30年代の陸奥湊周辺の様子を再現しています。
- 8 みなとカフェ。ドリンクや防災食を使ったカレーなどのメニューも楽しめます。
- 9 オープンテラス。八戸の街並みを一望できるほか、夏には花火大会の観覧席としても活用されています。

八戸市みなと体験学習館「みなっ知」が、 後世に伝えるもの

湊地区の歴史・文化とともに東日本大震災の被害状況を伝え続ける八戸市みなと体験学習館「みなっ知」。施設管理の担当者である奥寺誠さんに、建設の経緯や今後の展望を伺いました。

地域の方とともに作り上げた、街の新たなシンボル

八戸市みなと体験学習館は、建物がある湊地区の連合町内会の方々の声を受けて誕生しました。建設にあたって、地元主導による「旧八戸測候所庁舎利活用検討会」が発足し、ワークショップなども含めた検討会が延べ9回にわたって行われるなど、地域の想いが反映された施設となっています。地域の方々は完成後も、イベントなどの運営に積極的に協力してくださっています。特に町内会長さんが講師となって、湊地区を歩きながら地域の歴史について解説してくれるイベントは毎回すぐ定員に達するほど、大人気の企画です。

当施設がある館鼻公園は、湊地区のシンボルであり、地域の方々に愛され続けてきました。その公園内に、体験学習館ができたことで、私たち地方公共団体と地域の方々、さらに地域の方々同士の交流の機会が増えました。当施設を通じて地域が一体となり、より良いまちづくりのために協力し合える関係が築けたと感じています。

JFMの融資を活用し、災害に強い地域づくりを

今回、施設を改修するにあたり、JFMの融資を活用しました。電子申請・通知システムにより、オンライン上で簡単に手続きが行えるため、借入時期の繁忙期にも負担が少なく、効率的に業務を行えたと感じています。JFMの融資担当の方も親切で、申請の手続きについてわかりやすく教えていただけたほか、こまめに連絡をしてくださることもあり、安心して活用することができました。

今後は、当施設の目的である「八戸市や湊地区の歴史・文化と東日本大震災の被害状況や教訓を伝える学習の場」として、地域の方はもちろん、市外の方々など多くの人にご来場いただけるよう、イベントやSNSなどを通じた周知活動に力を入れていきたいです。そして、震災からおよそ10年経った今、当施設を拠点としながら、東日本大震災の教訓を活かした災害に強い地域づくりや、湊地区の経済活性化につながる取組も推進していきたいと考えています。



八戸市 都市整備部 公園緑地課 主査
奥寺 誠

■八戸市みなと体験学習館の利用状況

令和元年度の八戸市みなと体験学習館の利用者数は、33,714人で、市内の方が8割、市外の方が2割となっています。特に春先には、館鼻公園の桜の開花シーズンに合わせて、ご家族でお越しいただくなど、たくさんの方にご来場いただいています。さらに、春から夏にかけては、小学校の社会科見学など、市内外問わず、団体でのご利用も多い季節となっています。

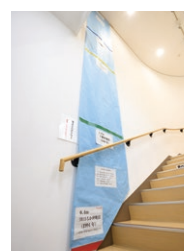


Column

もしものときに備えて学ぶ「防災フェアin館鼻公園」

八戸市みなと体験学習館では、月に2~3回ほど防災や歴史・文化が学べるイベントを実施しています。令和2年9月に開催された「防災フェアin館鼻公園」では、地震体験車の試乗や消火体験など、防災意識向上につながる取組を実施し、市内を中心に約600人の方にご来場いただきました。

また、館内には、過去の防災イベントで作成された「津波タペストリー」も展示しています。過去に八戸周辺で起きた津波の高さが一目でわかり、津波の恐ろしさが伝わる作品となっています。



青森県八戸市

ご当地紹介

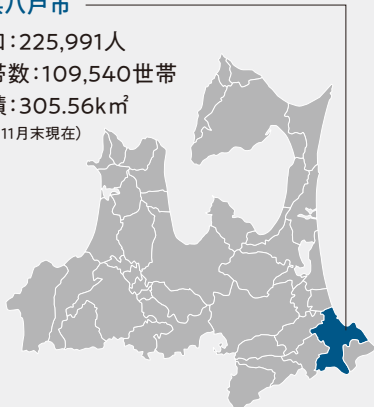
北東北にありながら晴天日が多く降雪量が少ない、穏やかな気候が特徴の八戸市。新幹線やフェリー航路、空港などの交通機能も整っており、北東北における陸・海・空の結節点としての役割も担っています。



八戸市の市章

青森県八戸市

- 人口:225,991人
- 世帯数:109,540世帯
- 面積:305.56km²
(令和2年11月末現在)



私の
地元自慢

全国トップクラスに美味しい食材と、あたたかい人々に恵まれた街です。

八戸市は、とにかく食べもの美味しい街。特にサバは、寒い場所ならではの脂ののったものが味わえるため、イチオシです！また、八戸の方々はあたたかい人が多く、小さい飲食店が立ち並んでいる「横丁」と呼ばれる場所では、知らない人同士でもすぐに打ち解けて、和気あいあいと食事を楽しむといった光景もよく見られます。

都市整備部 公園緑地課 技査 赤石 大地



さまざまな自然に触れる種差海岸

広大な天然の芝生が波打ち際まで広がる「種差天然芝生地」や、国内で唯一ウミネコの子育ての様子を間近で観察できる「蕪島」。そして、日本の渚百選にも選ばれた鳴砂がある大須賀海岸など、さまざまな自然の表情を楽しむことができます。



昭和の風情あふれる八戸の横丁文化

昭和20年代頃から始まった「たぬき小路」や「れんさ街」、平成14年の東北新幹線八戸開業に合わせて誕生した「みろく横丁」などバラエティーに富んだ8つの横丁があります。魚介類や八戸せんべい汁など、八戸地方を代表する郷土料理も味わえます。



日本最大級の朝市、館鼻岸壁朝市

港町である八戸では各所で朝市が開催されています。中でも広大な岸壁に3月中旬から12月末まで毎週日曜日の早朝だけ出現する「館鼻岸壁朝市」は全長800mにわたって300以上の店が立ち並ぶ巨大朝市です。八戸自慢の海産物から雑貨まで、あらゆるものが揃っています。



(写真提供:(一財)VISITはちのへ)

もっと知りたい！八戸市

令和2年9月、東京都「日比谷OKUROJI」内に八戸都市圏交流プラザ8baseがオープン。八戸圏域の山海の幸を活用した創作郷土料理や地酒が味わえるなど、東京にいなながら八戸を丸ごと楽しむことができます。

八戸都市圏交流プラザ「8base」



本件で活用いただいた制度

公共施設等 適正管理推進事業

公共施設等総合管理計画に基づき実施する事業です。既存の公共施設の集約化・複合化・長寿命化・立地適正化などを実施するものを対象としています。

JFMスタッフ Message



融資部融資課 瀧口 達哉

八戸市みなと体験学習館の整備に際しては、公共施設適正管理推進事業のうち、施設の転用事業として機構資金をご活用いただきました。

JFMでは、電子申請・通知システムによる借入申込事務の効率化に取り組んでいます。借入事務にあたり、ご不明な点などありましたら、お気軽に融資部各領域担当までご相談ください。